

令和8年度小中一貫重点目標

「自ら問い、言葉でつながり、しなやかに挑み続ける」

～ 心の中に「やってみたい! やってみよう!」の火を灯そう ～

学校だより

令和8年6月30日発行

佐呂間町立佐呂間中学校

文責 校長 太 田 依 里

パーマ交換留学生来校

6月8日(月)～6月18日(木)

今年もアラスカ州パーマ市から4名の留学生と先生1名が来町し、佐中生とともに日本の生活を体験しました。
佐中生は、日本の文化に触れてもらうために、1年生「日本の食」、2年生「日本の遊び」、3年生「日本のスポーツ」を体験も交えて紹介しました。

留学生帰国後は、グループごとに発見したことや感想をまとめ、発表会を行いました。撮影した動画はパーマ市にも届けられます。

日本とパーマ市の違い

日本のパーティーとパーマ市のパーティーの違い
日本とパーマ市の家庭でのルールの違い



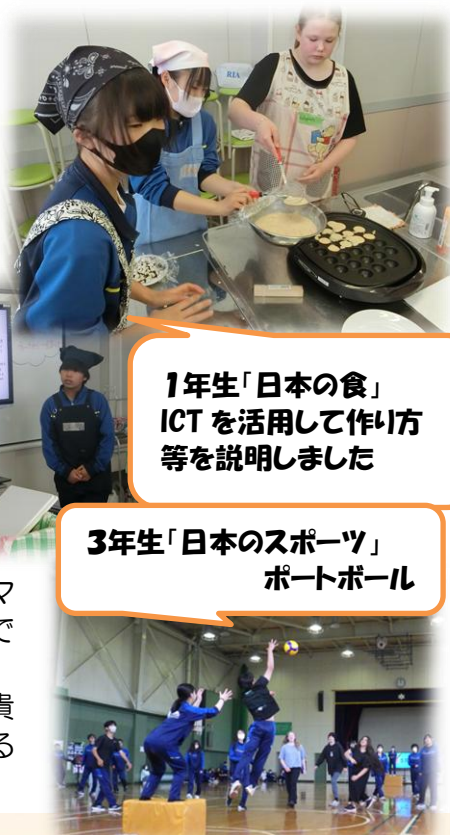
色や味の「好み」の違いに着目

9月には佐中生5名がパーマ市でホームステイをする予定です。

佐中生でなければできない貴重な経験が、人生の宝物になること間違いなし!ですね。

1年生「日本の食」
ICTを活用して作り方等を説明しました

3年生「日本のスポーツ」
ポートボール



アラスカ州パーマ市留学生交流学习：異文化理解を深める10コマのプロセス

学習の目的と基本姿勢



異文化理解と 多様な価値観の育成

パーマ市の理解を深め、異なる視点を受け入れる柔軟な思考力を養います。



全員が役割を持つ 主体的な学び

全生徒が役割を担い、自国文化を適切に説明する力を育成します。

学年別テーマ：日本文化の発信

第1学年：日本の「食」



おにぎり、みそ汁、たこ焼きなどの調理実習を通じた交流。

第2学年：日本の「遊び」



折り紙、けん玉、竹とんぼなど、体験型の伝承遊びを紹介。

第3学年：日本の「スポーツ」



柔道、剣道、相撲など、武道や伝統競技の体験と紹介。

学習の流れ (全10コマ)

準備：調べ学習と交流準備 (2コマ)



パーマ市の調査と、各学年テーマの紹介スライドを作成します。

実践：交流会・歓迎会・送別会 (2コマ+α)



留学生を迎え、文化体験や質疑応答を直接行います。

まとめ：資料作成と発表会 (4コマ)



学んだ内容を動画やスライドにまとめ、学年全体で共有します。

サロマ湖100kmウルトラマラソン 6月28日(日)



今年も佐中生12名、教職員6名(ここ数年で最多の人数)がエイドステーションのボランティアとしてお手伝いさせていただきました。去年は猛暑、今年は低温、なかなかちょうどよいとはいかないものですね。

佐中生のいいところ！一言ってみた、やってみた！ー

感心したのはベテランボランティアの3年生が「(飲み物の種類の札について)

テントの支柱に貼ってあるのではランナーから見づらい」と気づき、首から下げることが提案したというエピソード。さすがです！

気づき→発想→発信→行動がつながったことで、ボランティアの質がグッと上がった一幕です。

思いついたことを言ってみた勇氣、安心して発言できる仲間、チャレンジさせてくれた環境、良い条件がそろってこそなせる業ですね。

今回の経験が、「さろまっ子」から、みんなのために自ら動く「サロマ人」に成長するきっかけとなりました。

ランナーから見えやすいように、工夫してみました！

Nice Idea 🍌 🍌



終了後は町の大人の皆さんから、「ランナーからの評判がとてもよかった」「一所懸命取り組んでもらい、感謝している」「さろま学で培われた郷土愛ですね」などなど、お褒めの言葉をたくさんいただきました。参加した佐中生、先生方、大変お疲れさまでした。

佐中生は、チャレンジする大人の姿に何を感じたか!?



長い階段を一気に上がろうとすると、途中でへばってしまう。

でも一段ずつ確実に上がっていけば、時間はかかっても頂上まで上がることができる
高橋尚子(マラソン)

今回の大会は3870人のランナーがエントリーしていました。管外、道外はもとより、全道・全国から集まったランナーたち。海外の方もいましたし、高齢の方もいました。男性も女性もいます。

100km走ることは辛いことだし、その準備や練習も辛いということは簡単に想像できます。では、なぜ、そこまでして走るのか!?

実際には走らないとしても、自分の何かに例えることはできないでしょうか？

誰が考えても尋常ではないこの100kmという距離に挑戦する大人たちを見て、佐中生は何を感じたのか？機会があったら聞いてみたいですね

情報モラル教室

6月9日(火) 6校時

KDDI より加藤隆弘様を講師にお招きし、スマホ・ケータイ安全教室を実施しました。

中学生・高校生に起こりやすいトラブル事例を動画を使って紹介していただき、「怖さ」を実感することができました。

被害者にも加害者にもならないよう、怖さと仕組みを理解して賢く使いこなす大人になってください。



部活動、がんばっています！ ～中体連、はじまりました～

6/20のバドミントン大会を皮切りに、オホーツク中体連が始まりました。
今年度は、バドミントンと男子バスケットボールが単独チームでの参加となります。

6/15(月)には、生徒会が主催し中体連壮行会が行われ、女子バレーボール部主将の今部楓さんが、参加チームを代表して選手宣誓をしました。



《バドミントン》

6月20日(土)・21日(日) 網走市

女子団体

1回戦 vs 紋別 NEXUS ○3-0●

2回戦 vs 遠軽少年団 ●2-1○

男子シングルス

久須田 大哉 2回戦惜敗 三好 悠聖 3回戦惜敗

女子シングルス

木間 結菜 3回戦惜敗 橋本 実奈 ベスト8

女子ダブルス

佐野あいこ・久須田美耶ペア 2回戦惜敗

齊藤ここは・畑尾 希星ペア 2回戦惜敗

長瀬 心花・日沼 彩葉ペア 1回戦惜敗



《サッカー》

6月27(土)・28日(日) 遠軽町

佐呂間中学校、紋別中学校、紋別潮見中学校、渚滑中学校との合同チーム
vs 網走第三中・小清水中・斜里中・清里中の合同チーム 健闘の末、敗退

《バスケットボール》

6月27(土)・7月4日(土)・5日(日) 北見市

女子 vs 遠軽中 ○54-8●

*男子は6/27は試合がありませんでした



《野球》

佐呂間中学校、上湧別学園、ゆうべつ学園、芭露学園との合同チーム

中体連には出場せず、7月18日(土)から興部町で開催される全日本軟式野球大会に出場します。

《バレーボール女子》

7月4日(土)・11日(土)・12日(日) 女満別町

佐呂間中学校、上湧別学園、ゆうべつ学園との合同チーム

7月の行事予定

6日(月) スクールカウンセラー来校日

8日(水) 参観日(全学年)

13日(月) 研修日 *5時間授業・部活なし

15日(水) 2年生 宿泊研修 ~16日

17日(金) 佐呂間高校来校説明会

21日(火) 大掃除週間 ~24日

24日(金) 夏休み前集会

25日(土) 夏季休業日 ~8/17

《ご注意ください》

役場庁舎新築工事が始まりました。

学校周辺を**大型車両**が頻繁に通っています。

登下校の際は交通安全に留意するよう、ご家庭でも声掛けをお願いします。



ショート動画や切り抜き動画が生む 誤解とそのリスク

現在、SNSにおける短い動画、いわゆる「ショート動画」が人気となっています。また、長い動画の内容を短くまとめた「切り抜き動画」と呼ばれる形式も広く見られます。こうした動画は短くて見やすい反面、情報の伝わり方に注意が必要な場合があります。では、どのような点に気を付ける必要があるでしょうか。



「ショート動画」と「切り抜き動画」

ショート動画とは、主にスマートフォンでの視聴を前提とした、数秒から数十秒程度の短い動画のことです。多くの場合、画面をスワイプ※すると次の動画に切り替わる仕組みになっており、短時間でたくさんの動画を視聴できるのが特徴です。また、切り抜き動画とは、長い動画の一部を抜き出し、短く編集編集したものを指します。ショート動画の中にはこの切り抜き動画も多く含まれています。

※スワイプとは画面に指を軽く触れたまま、任意の方向に指を滑らせる操作のこと

ショート動画・切り抜き動画の注意点

ショート動画の注意点

限られた時間の中で内容を伝えるため、言い方が簡潔になったり、印象に残りやすいように表現が誇張される傾向があります。その結果、本来の意味合いよりも極端な印象になったり、一面的な理解につながる場合があります。

切り抜き動画の注意点

長い動画の一部を抜き出しているため、本来の文脈や前後の説明が省略されている場合があります。そのため、発言の意図とは異なる受け取り方をされることがあります。

このようにショート動画や切り抜き動画は、見る人に事実とは異なる印象を与えてしまう可能性があります。フェイクニュースのように騙すことを目的とした情報とは異なり、**事実**に則した内容であっても、**見せ方や伝え方によって受け取り方が変わる**ことがある点に注意が必要です。

家庭での指導

ショート動画や切り抜き動画はわかりやすく、見やすく作られているので子どももついつい見てしまいがちです。ただ、その反面、ここまで述べたようなリスクもありますので、その性質を子どもと話して確認しておきましょう。「**内容が誇張されているかも**」、「**本来の内容が大きく省略されているかも**」といった、**見たままをそのまま受け取らない姿勢**を育てることが求められます。



様々な情報源に触れさせることも効果的です。